

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年2月24日(2005.2.24)

【公開番号】特開2000-112130(P2000-112130A)

【公開日】平成12年4月21日(2000.4.21)

【出願番号】特願平10-280030

【国際特許分類第7版】

G 03 F 7/039

G 03 F 7/004

H 01 L 21/027

【F I】

G 03 F 7/039 601

G 03 F 7/004 501

H 01 L 21/30 502 R

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月24日(2004.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 環状脂肪族炭化水素骨格を有し、酸の作用により分解しアルカリ可溶性となる重合体、

(B) 下記一般式(I)で表される化合物、

(C) 活性光線の照射により酸を発生する化合物、

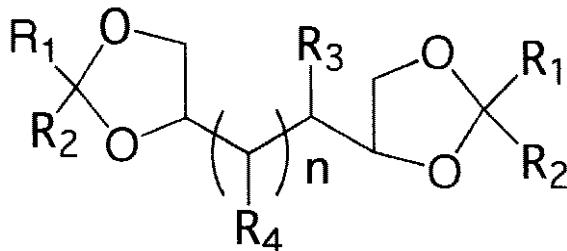
(D) 含窒素塩基性化合物、

(E) フッ素系及び/またはシリコシ系界面活性剤、並びに

(F) 溶剤を含有することを特徴とするポジ型感光性樹脂組成物。

【化1】

一般式(I)



(一般式(I)において、R₁、R₂は各々独立にアルキル基を表し、また、R₁とR₂とが互いに結合して、炭素原子とともに環構造を形成していてもよい。R₃、R₄は、各々独立に、水素原子又は水酸基を表す。nは繰り返し数であって、1から5の整数を表す。)

【請求項2】

活性光線として、220nm以下の波長の遠紫外光を使用することを特徴とする請求項1に記載のポジ型感光性樹脂組成物。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載のポジ型感光性樹脂組成物により膜を形成し、当該膜を露光、現像することを特徴とするパターン形成方法。